

物忘れや認知機能について気になる場合 どんな検査がおすすめですか？

A: 認知機能セルフチェッカーがおすすめです

認知機能セルフチェッカーは、あなたの眼の動きを分析して
認知機能の状態を確認できる次世代型の検査機器です。
口頭や筆記での回答が不要で、負担の少ないところも特徴です。

検査時間
5分

1
VRを
覗き込む



2
認知課題に
回答



3
結果を
受け取る



認知症予防のカギは ▶ 認知機能低下の早期発見

MCI(軽度認知障害)と診断、あるいは発症する年齢は**50～60代**に多く、MCI段階の人が
適切な処置や改善を行うと、**14～44%**が**健常状態に戻る**と言われています。◆



検査を受ける理由はさまざま



脳ドックと一緒に検査を受けることで、
自身の脳の状態をより詳しく知りたい
と思った。

50代 男性



母親が認知症になったことをきっかけ
に、人ごとではないと思い検査を受けて
みようと思った。

40代 男性



家族にすすめられ、認知症になったら
家族にも大きな負担をかけてしまうと
改めて気付かされた。

60代 男性



人の名前がパッと出てこなかったり、家
の鍵を閉めたかななどの物忘れがあり、
不安を感じていた。

50代 女性

本検査は、利用者が何らかの病気に罹患している可能性を示したり、診断等の医学的判断をしたりするものではなく、
また、本検査に使用される機器は疾患の診断、治療または予防を目的としたものではありません。本検査は、日頃の
認知機能の状態を知るためのスクリーニング検査ですので、ご自身の認知機能の状態把握の目安の一つとしてください。